

I T C名城クラブ 第33期第8回例会

日時：2016年4月8日(金)
10:30~12:30
場所：ルブラ玉山

I T C宣言	全員
ビジネス	
チェアマン	増原久美子
プログラム	
インスピレーション	近藤奈おみ
プログラムリーダー	戸松導世
『子供の本箱』	
プレゼンター	中島美恵子 松永正子 稲葉由利子
タイマー	後藤陽子
総評	三宅ゆかり



今月の受付 (nice smile)



インスピレーション (名作!)

虫のお父さんは結婚すると食べられちゃうのに、
どうしてうちのお父さんは食べられないんだろう？

魚のお母さんは赤ちゃんを産むと死んじゃうのに、
どうしてうちのお母さんは死なないんだろう？

ハヒフヘホは楽しい言葉なんだね、ははははは、ひひひひひ、ふふふふふ、へへへへへ、ほほほほほ、
って全部笑っているもんね！

※ご自身のお子様のセリフだそうです





『子供の本箱』から受けるイメージを膨らませ、席替えの時間を利用し、会員全員が持ち寄った絵本を実際に手に取って見る時間を設けました。まるで子供の様に、皆が目を輝かせ本を見る、とても楽しい時間となりました。



現代社会における絵本の役割についてのエデュケーション後、プレゼンターには、子供時代や子育て時代を振り返り、絵本から受けた影響や、大人になってから感銘した児童書や絵本の紹介をして頂きました。その後、会員も同様にブックレビューを行いました。



「時代は変わっても絵本は子供の心を育て、心の栄養となる。」との言葉通り、子供の本箱を開いた時、たくさんの新しい発見と笑顔がありました。

4月プログラムリーダー 戸松導世

